



A 試合会場レポート

試合番号 215

開催日 2015/12/27

平成27年度天皇杯ファイナルラウンド

会場：大田区総合体育館

観客数:	2,200	開始時間:	15:15	終了時間:	17:17	試合時間:	02:02	主審:	村中 伸	副審:	浅井 唯由
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	------	-----	-------

JTサンダーズ



監督: ヴコヴィッチ ヴェセリン
 コーチ: 徳元 幸人

通算: - 勝 - 敗
 ポイント:

1	20	第1セット 【 00:25 】	25	3
	22	第2セット 【 00:32 】	25	
	25	第3セット 【 00:27 】	21	
	21	第4セット 【 00:29 】	25	
		第5セット		

豊田合成トレフェルサ



監督: クリステリアンソン アンディッシュ
 コーチ: 藤田 和広

通算: - 勝 - 敗
 ポイント:

【】内はセット時間
 ()内は交代選手

<監督コメント>

まずは優勝した豊田合成に対して心からおめでとうと言いたい。今大会を通して彼らのパフォーマンスは優勝に値するものだったと思う。
 そして、私達の選手にもお疲れ様と言いたい。様々なトラブルを乗り越えて最後まで戦い続けたと思う。両チームとも素晴らしいパフォーマンスだった。
 ファンの皆様ご声援ありがとうございました。

<監督コメント>

このチーム、このメンバーで天皇杯を優勝できて本当にうれしい。会社にとっても創部以来初のタイトル獲得ということですから素晴らしい結果になった。昨夜、遅くまで準決勝を戦ったり、準々決勝でパナソニック、準決勝で東レ、そして今日の決勝ではJTと強豪チームとの対戦が続いたことを考えると、我々がハードなトーナメントを勝ち上がってきたチームだといえる。その中で優勝で終わったことを誇りに思う。
 本日も会場につめかけ声援を送ってくださった皆様、日頃から我々をサポートしてくださった方々本当にありがとうございました。

20	中島	安井	第1セット	近	高松	25
	(寛本)	()		()	()	
	井上	ヴィソット		イゴール	内山	
()	()	()	()	()	()	()
()	八子	町野	()	白岩	傳田	()
()	()	()	()	()	()	()
リベロ:	唐川		リベロ:	古賀(幸)		
22	寛本	安井	第2セット	近	高松	25
	(深津)	(久原)		()	(岡本)	
	井上	ヴィソット		イゴール	内山	
()	()	()	()	(重村)	()	()
()	八子	町野	()	白岩	傳田	()
()	()	()	()	井上	()	()
リベロ:	唐川		リベロ:	古賀(幸)		
25	中島	安井	第3セット	近	高松	21
	()	()		()	(岡本)	
	深津	ヴィソット		イゴール	内山	
()	()	()	()	(重村)	()	()
()	八子	町野	()	白岩	傳田	()
()	吉岡	()	()	山田	()	()
リベロ:	唐川		リベロ:	古賀(幸)		
21	中島	安井	第4セット	イゴール	近	25
	()	()		()	()	
	深津	ヴィソット		白岩	高松	
()	()	()	()	()	()	()
()	吉岡	町野	()	傳田	内山	()
()	()	()	()	()	()	()
リベロ:	唐川		リベロ:	古賀(幸)		
	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
リベロ:			リベロ:			

<要約レポート>

連覇を目指すJTサンダーズと初優勝を目指す豊田合成トレフェルサの決勝戦。
 第1セット、一進一退の中、JTは中島、安井、豊田合成は近、白岩のサーブでみせる。中盤、豊田合成は高松のサーブで相手を崩し、ブロックでプレッシャーをかけた相手のミス誘いリードする。その後も古賀(幸)を中心にレシーブでつなぎ、チャンスに変え得点をあげセットを先取る。
 第2セット、豊田合成はイゴール、JTは安井、ヴィソットを中心に攻撃を組み立てる。JTは井上のブロックと、八子のスパイクでリードする。対して豊田合成は高松のサーブとレシーブを攻撃につなげ同点に追いつく。中盤JTがヴィソットのサーブで抜け出す。しかし、豊田合成は内山、井上のブロックで波に乗りセットを連取る。
 第3セット、拮抗する中でJTは町野のサーブで相手を崩し、切り替えしリードする。代わって入った吉岡、深津もそれぞれ得点をあげてセットを取り返す。
 第4セット、豊田合成はイゴール、JTは安井がそれぞれサーブエースでチームを盛りあげる。豊田合成が全員でスパイクレシーブをあげ、イゴールの攻撃に託しリードする。JTもヴィソットのサーブ、町野のブロックなどで詰め寄るが、豊田合成は高松のサーブや傳田、白岩の連続ブロックでリードをひろげ、最後はイゴールのスパイクで初優勝を飾った。

作成者: 高澤 佳江